

持続可能な活力ある 地域社会づくりの取り組み

☆左記は平成28年度予算で取り組む新規事業や充実させる事業などの主なもの。金額は1万円未満を四捨五入

未来への扉をひらく 8 戦略を着実に進めます

1 まち活性化戦略 産業と人々の活力がみなぎるまち

- 中野駅周辺のまちづくりの検討・整備の推進(新北口駅前広場用地の分割取得や中野四季の森公園地下自転車駐車場の実施設計など)21億378万円、中野三丁目地区土地区画整理事業の推進11億7509万円
- 西武新宿線沿線まちづくり・連続立体交差事業(5億6千437万円)



▲哲学堂公園

2 安全・居住都市戦略 快適・安全な魅力ある都市

- (仮称)本町二丁目公園・(仮称)弥生町六丁目公園など災害時に防災機能を担う大規模公園の整備(3億761万円)
- 都の不燃化特区制度などを活用したまちづくり(弥生町三丁目周辺地区・大和町地区、4億1千216万円)
- 災害時避難行動要支援者の支援(3千553万円)
- 空家対策事業(2千391万円) など



▲(仮称)本町二丁目公園の現況



3 環境共生都市戦略 環境負荷の少ない、持続可能なまち

- 「中野の森プロジェクト」によるカーボン・オフセットの推進(なかの里・まち連携自治体である群馬県みなかみ町、福島県喜多方市での森林整備、9,280万円)
- 「事業系廃棄物収集届出制度」の導入(3千2万円)
- 清掃事務所車庫の移転整備(3億5千726万円)
- ごみ分別アプリの導入(104万円) など



▲中野の森

4 生きる力・担う力育成戦略 誰もが成長し続けるまち

- 子育て支援の推進(認可保育所等の誘致・整備、新規開設認可保育所の空きスペースへ活用による待機児童保育、認可小規模保育事業等との連携等、67億1千900万円)
- 児童・生徒の学力向上(6千655万円)
- 区立小・中学校の再編(統合新校3校の開校準備など)5千843万円、改修工事及び改築基本設計等7億2千245万円、特別支援学級(情緒障害等)の移転整備4千623万円)
- 小・中学校の非構造部材の耐震対策(体育館のつり天井など)2億1千162万円、施設の計画的整備・改修(冷房化・
- トイレの洋式化など3億7千18万円)
- 子ども総合相談窓口の充実(子育てコンシェルジュ配置、ワンストップ対応など、7千58万円)
- 学童クラブ待機児童対策(沼袋小学校跡施設への民間学童クラブ開設1千952万円)
- 産婦人科医による講座等の実施(310万円)
- 南部地域障害児通所支援施設整備(1億8千367万円) など



▲大きなあれ(保育園で)

5 地域見守り・支えあい戦略 支えあう地域のきずな

- 地域包括ケア体制推進(新総合事業の開始準備889万円)
- 南部すこやか福祉センター(7千608万円)、南中野区民活動センター(6億1千169万円)
- 東中野区民活動センター(3億5千456万円)の整備
- 希望する区民活動センター運営委員会への集会所受付業務委託(2億821万円)
- 閉館となる堀江敬老館の代替施設整備(3千503万円) など



▲南中野区民活動センター等(9月開設)

6 スポーツ・健康都市戦略 自らつくる健康で安心した暮らし

- (仮称)南部スポーツ・コミュニティプラザの整備(8千186万円)、スポーツ・コミュニティプラザ事業拡充(3千701万円)
- 検診(健診)の対象年齢の拡大(眼科検診2千1万円、成人歯科健診2千680万円)
- ロウ威尔スフクチン予防接種の部費用助成開始(365万円)
- 南部すこやか障害者相談支援事業所の開設(2千255万円)
- 民間活力による中野五丁目用地への障害者多機能型通所施設(5千761万円)、重度障害者グループホーム(320万円)の整備
- 重症心身障害児(者)在宅レスパイト事業開始(548万円)
- 障害者福祉会館内への調理給食設備整備(4千210万円)
- 福祉タクシーと福祉ガソリン券の選択制導入(1億7千380万円) など
- 健康づくりの取り組み



▲健康づくりの取り組み

7 区民サービス基盤強化戦略 区民の暮らしを守る 行政サービスの基盤

- 後期高齢者医療保険料のコンピュータシステムでの収納開始(589万円)
- 税の多様な納付方法の整備(1千489万円)
- サーバ、端末、ネットワーク等の機器に関するセキュリティ対策の強化(3億3千万円) など



▲区役所の窓口

8 持続可能な行政運営戦略 区民とともに築く持続可能な区政

- 誰もが住みやすい「ユニバーサルデザイン」のまちづくりの推進(267万円)
- 情報セキュリティマネジメント体制の確立(15M\$認証取得1千763万円) など
- 男女共同参画社会に関する調査と基本計画の改定(350万円)
- 新しい区役所整備基本計画の策定(1千651万円) など



▲現在の区役所

災害に強く安全な 中野のまちを目指します

災害に強いまちづくり

- 大規模公園の整備(2)、災害時避難行動要支援者の支援(2)、学校の非構造部材の耐震対策(4)など上記で紹介した事業を含め、次のことにも取り組みます。
- 避難所機能の充実(災害時要配慮者や女性に配慮した備蓄強化等6千754万円)
- 初期消火設備の配備(スタンドパイプ等3千575万円)
- 災害医療体制の充実(542万円)
- 帰宅困難者対策(880万円)
- 防災行政無線デジタル化(1億4千628万円) など



▲避難所の備え(訓練で)

インフラ資産の適正管理

- 学校施設の冷房化・トイレ洋式化(上記(4)など)に加え、次のことも実施します。
- 道路・橋・公園施設等の計画的な整備(8億412万円)
- 通学路の安全対策工事(3千401万円)
- 区民活動センター・高齢者会館等の改修(トイレ洋式化など)1億2千924万円)
- なかのZERO(もみじ山文化センター)の大規模改修・ESCO事業※の導入、軽井沢少年自然の家の大規模改修(25億7千199万円) など
- (※)ESCO事業 省エネルギー化を推進する設計・施工等を行う事業者が施工後のエネルギー削減率を約束させ、省エネルギー診断から改修工事、導入設備の運転管理に至るまで包括して委託することで、省エネルギー効果の実現を確実に図る事業手法